

2019年8月29日

青函トンネル内における携帯電話サービスの開始（拡大）について

- JR北海道は、総務省が推進する「電波遮へい対策事業」について、総務省・公益社団法人移動通信基盤整備協会のご協力のもと、お客様に安全・安心して鉄道をご利用いただけるよう北海道新幹線トンネル内における携帯電話不通区間の解消に取り組んでおります。
- これまで、青函トンネル内においては、一部区間において携帯電話サービスをご利用いただいておりますが、このたび、ご利用可能区間を拡大いたします。
これにより、青函トンネル全体において携帯電話が使用できるようになります。
- なお、今回、北海道新幹線全トンネル長計約97km中、約55km（約57%）が利用可能となりますが、残る延べ約42km（約43%）については、引き続き工事を進めてまいります。

1. サービス開始（拡大）時期

2019年9月5日（木）始発列車からサービス開始（拡大）予定

2. サービス開始（拡大）区間

青函トンネル入口～竜飛定点（旧竜飛海底駅）約13.6km

青函トンネル出口～吉岡定点（旧吉岡海底駅）約17.0km

（参考）竜飛定点（旧竜飛海底駅）～吉岡定点（旧吉岡海底駅）については2019年4月17日よりサービス提供中

3. サービス提供事業者

株式会社NTTドコモ

KDDI株式会社

ソフトバンク株式会社

4. 事業概要

トンネルなどの人工的な構造物により電波が遮へいされ、携帯電話などが使用できない地域において、移動通信用中継施設などを設置して携帯電話などを利用可能にするなど、電波の適正な利用を確保することを目的として実施されている「電波遮へい対策事業」に基づく国の補助金を活用して工事を行っています。

5. 今後の予定

引き続き、北海道新幹線トンネル内の携帯電話サービス開始に向けて工事を進めてまいります。

(概要図)

